

# Smile 通信



平成24年10月 編集・発行／埼玉県住まいづくり協議会  
〒330-8516 さいたま市浦和区仲町3-12-10(埼玉県住宅供給公社内)  
TEL 048-830-0033 ホームページアドレス <http://www.sahn.jp/>

大澤舍新井家 沿道より望む



## CONTENTS

### シリーズ埼玉の住まい

- |                   |         |
|-------------------|---------|
| 清流のまち 日高          | 表紙、2、3頁 |
| 住み心地の良いまち大賞 発表    | 4、5頁    |
| 平成24年度 第1回理事懇談会   | 6頁      |
| 運営委員長就任のご挨拶       | 6頁      |
| 木造住宅生産体制強化推進委員会   | 7頁      |
| 平成24年度住生活月間シンポジウム | 8頁      |

VOL. 49

# 清流のまち 日高

埼玉県立近代美術館  
専門員 兼学芸員 伊豆井秀一



大澤舎新井家 土蔵①



大澤舎新井家 式台①

秋、曼珠沙華が林を深紅に染め  
る光景でその名を知られる巾着田。  
この巾着田を取り囲みながら清流、  
高麗川が市の中央を流れる日高市。  
昭和三十一（一九五六）年に成立  
した市は、大別して高麗、高麗川、  
そして高萩の三つ地区から成つて  
いる。高萩の三つ地区から成つて  
いる。

はじめに高麗地区。  
西武秩父線高麗駅から歩いて七、  
八分のところ。大澤舎新井家（表紐  
①）。石垣と板塀に囲まれた門構え  
の家。地名から大澤舎と称された  
という。代々名主を務めた名家  
ある。正門に木造二階の嘉永五（一  
八五二）年築の母屋。向かつて左二  
土蔵、右手にも明治初期という二階建て  
庫蔵。母屋正面の玄関客人用の式文  
台が当家の格式を伝える。客間と  
奥の間の二部屋は床の間付きでと  
もに八畳、吊り天井となつていて。  
客間の床の間に飾られた軸は江戸  
琳派の鈴木其一、欄間の額は英一  
蝶筆だつた。ふすまの引手には四一  
君子が描かれた染め付け。纖細。野  
建具の奥の書院を書と江戸末期狩な  
野派の襖が囲む。樹木におおわ  
れた建物の周囲の三方は沢に囲まれ  
て清々しく、高いところで鳥も啼んで  
いたと十六代目は仰る。

平成二十年度に市は豪壮な古民  
家、高麗郷旧新井家住宅②を買  
上げた。巾着田から日和田山を背  
景にした高麗郷一帯を農村の原風  
景として維持していくための核と  
してこの建物を位置づけている。  
新井家は江戸期には附近の名主を、

明治期に戸長を、さらに高麗村の  
村長もつとめている。母屋と客殿  
はその中心。ともに木造二階建て。  
母屋は江戸期末から明治期前半の  
建築。一階は六間取りの部屋と土間  
あとから移築された客殿部分は豪  
壮な母屋と比較し精緻につくられ  
た明治期のもの。客殿、一階の客  
間は瀟洒な書院造りだが、二階か  
ら臨む巾着田は爽快で絶好の口  
ケーションである。五千m<sup>2</sup>以上も  
ある裏山には幹廻りの太いタブノ  
キ、シラカシも。市民とともに利  
用方法を考えていこうと、毎週木  
曜日には公開されている。

日高を語るときに高麗神社は欠  
かせない。高句麗から帰化した高  
麗王若光の遺徳を偲びつくられた  
靈廟が高麗神社である。脇に立つ  
のは国指定の重要文化財高麗家住  
宅③。代々高麗神社の宮司である  
高麗家が護ってきたもの。建築年  
代は構造手法から十七世紀中頃ま  
で遡り得るとされる。山を背にし  
て東面して建てられ、その規模は  
間口約七間半奥行き約五間。屋根  
は入母屋造り茅葺き。五つの部屋  
と土間から成る。大黒柱がなく、  
細い柱で梁を支えているのが特徴。  
表座敷には、中世の床の間の前身  
である押し板という座敷飾りが設  
えてある。訪れた折、日韓の交流  
に寄与すべく韓国の白磁の作家の  
展覧会が開かれていた。

少し北に離れて高麗川のほとり  
にあるのは長澤酒造④。

正末に北平沢からこちらに越して  
きたと六代目。木造二階の母屋、  
向かつて左に酒蔵、右に穀倉とも  
う一つの蔵と共に二階建ての蔵。

奥には隠居用にと平屋の離れがある。こちらでは酒蔵を利用し、毎年日本ファイルの楽員たちとのコンサートが開かれている。先代の発案で二十一回目を数えるという催し物には地元の音楽ファンが百人以上集まるという。美しい自然に囲まれ、地域で育んだ手作りの心豊かな催し物である。

高麗川を南下したところにあるのはこちらも名家、比留間医院⑤。医院を初めて三代目。十八代続く家といい、医院の方は奥様が、御当主は大学へ。広い敷地内に多くの建物が並ぶ。初代が開院した大正期の診療棟。現在の診療棟。それに文久三（一八六三）年の蔵を改修した応接室。それに母屋、二階建てのログハウス、そして極めつけは山小屋と呼んでいらっしゃる木造の平屋。外にはバーベキュー用の煉瓦の積まれた窯も設えてある。ベランダか

らは庭の背後を流れる日高川を見る。木々の合間に日和田山が見え隠れする緑に囲まれた当院は日本ファイルの樂員たちとのコンサートが開かれている。先代の発案で二十一回目を数えるという催し物には地元の音楽ファンが百人以上集まるという。美しい自然に囲まれ、地域で育んだ手作りの心豊かな催し物である。

高萩地区にある大竹家⑥。四〇七号、日光杉並木街道（日光脇往還）の板塀の見事な旧家、二十六代という。道路から見えるのはもと日高郵便局。明治十二（一八七九）年築。周囲の通信業務の中心地として活躍した木造平屋の下見板張りの建物である。庭をはさみ土蔵造りの二階、木造二階の母家。明治七（一八七四）年築の母屋は宮大工の手により改修がなされ、木造一階は九部屋、二階は三部屋といふ豪壮さ。改修には床柱の黒柿をはじめ、タガヤサン、檜、屋久杉などの銘木が用いられている。母屋から通じる明治七（一八七四）年築の土蔵造りの二階には閑院宮宿泊している。



犬竹家⑥

**伊豆井秀一**（いづいひでかず）  
昭和二十四年生まれ。埼玉県立博物館、埼玉県立近代美術館、埼玉県教育局生涯学習課を経、現在埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員。専門は日本近・現代美術。著書に『昭和の美術』（共著、毎日新聞社）、『小茂田青樹画集』（共著、日本経済新聞社）など。

川越日高線の通りにあるもと造り酒屋だった十二代目の水村家⑦の長屋門は眼を惹く。市の東部、下大谷沢の十五代目塩川家⑧の豪壮な長屋門には武州一揆の受難の痕も残る。

日高は広く、奥が深い。



塩川家⑧

水村家⑦

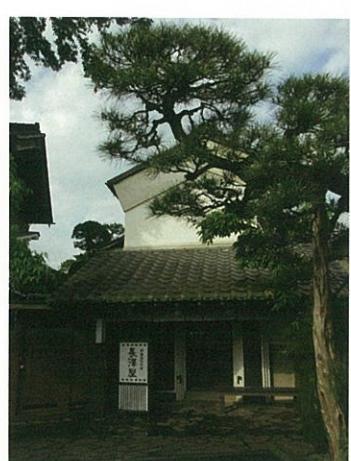
比留間医院⑤



高麗郷古民家(旧新井家住宅)②



高麗家住宅(国指定重要文化財)③



長澤酒造④



塩川家⑧



水村家⑦



比留間医院⑤

# 県知事賞に山下礼雄さん 「戸田市の歩道～見タイル・歩きタイル・親しみタイル～」



埼玉県知事賞 山下礼雄さん  
「戸田市の歩道～見タイル・歩きタイル・親しみタイル～」

第8回目となる埼玉住み心地の良いまち大賞の審査委員会が9月28日にさいたま市浦和区で開催されました。

今年は、埼玉県教育委員会教育長賞と協賛企業賞を新設し、入賞枠を69に拡大し、積極的な募集活動を行いました。その結果、応募作品数は1357点と前回を550点上回る過去最多を記録しました。この多くの応募作品の中から、審査委員会は、埼玉県知事賞、埼玉県教育委員会教育長賞、埼玉県住まいづくり協議会会長賞、審査委員長賞を各1点、協賛企業賞を25点、優秀賞を40点選出しました。表彰式は、10月13日にさいたま市浦和区のさいたま共済会館で開催されます。

また、10月19日には、浦和コルソ7階ホールで開催される「住生活月間シンポジウム」の会場で、受賞作品が展示されます。（入場無料）



審査委員による審査風景

作品に見る審査委員長

## 審査委員長講評

東日本大震災から1年7か月が過ぎました。被災地では、新たなまちづくりが進んでいます。一方で、それ以外の地域でもまちづくりへの関心が高まっているように感じます。

私たちの住む埼玉でも様々なまちづくりの取組が始まっています。エネルギーの地産地消を目指した「埼玉エコタウンプロジェクト」をはじめ、健康長寿や川の再生を視点にしたまちづくりなど、そのまちづくりのテーマは多岐にわたります。

### 埼玉県教育委員会教育長賞 大河原 拓弥さん 「ぼくのグリーンロード」



### 審査委員長賞 高松 敬さん 「古希のまち『三和町住宅』」



### 埼玉県住まいづくり協議会会長賞 伊藤 沙菜さん 「歴史と一緒にくらすまち 岩槻」

「第8回埼玉住み心地の良いまち大賞」には、過去最多となる1357点のご応募をいただきました。これは、過去最多だった昨年の第7回を大幅に上回る結果です。その中で、埼玉県知事賞に選ばれたのは、山下礼雄さん（小学4年生）の「戸田市の歩道を見るタイル・歩きタイル・親しみタイル」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、大河原拓弥さん（小学3年生）の「ぼくのグリーンロード」、協議会会長賞に、伊藤沙菜さん（中学3年生）の「歴史と一緒にくらすまち岩槻」、そして、審査委員長賞には、高松敬さん（一般）の「古希のまち『三和町住宅』」が選ばれました。

埼玉県知事賞に選ばれた山下さんの作品は、戸田市内の歩道に敷設された絵付きタイルをテーマにまちを探検するというものです。作者は、歩き慣れた歩道に施された小さな絵をきっかけに、自分の知らないまちの顔を求めてまち歩きをし、新たな魅力を発見したのでしよう。駅から自宅までを往復する日々の中でも、立ち止まって周囲を見渡すと、新たな発見がある。そして、それが次の発見につながる。作者は、自分の住むまちの魅力を知るために秘訣を教えてくれました。

埼玉県知事賞に選ばれた山下さんの作品のみならず、入選した全ての作品には、まちの魅力を見つけるためのヒントが描かれています。皆さんも作者の発見したまちの魅力を、その目で確かめてみてください。もしかすると、作者も気が付かなかつた新たなまちの魅力を発見できるかもしれません。

埼玉住み心地の良いまち大賞は、平成17年の第1回目から今年の第8回目までに、4271点のご応募をいただきました。これは、埼玉が魅力溢れるところであることを示すものです。そして、なにより、作者が発見した「良いまち」を私たちに届けてくださる小学校、中学校の先生や親御様、協賛企業の皆様のご支援・ご協力があつてこそこの結果です。関係者の皆様には、深く感謝を申し上げますとともに、これからも、埼玉県住まいづくり協議会の活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成24年10月

# 山本新会長の下で 平成24年度第1回 理事懇談会開催



去る8月22日午後5時さいたま市中央区さいたま新都心にて、山本会長、古里運営委員長の新体制による、埼玉県住まいづくり協議会平成24年度第1回理事懇談会が、26名の理事・正副委員長が出席して開催されました。

まず、山本会長から「先般の震災を受け、住宅の建築分野の役割が大きく変わってきており、国の施策等もそれに沿つて先手を打つていくのではないか。エネルギーの問題、省エネ、CO<sub>2</sub>の削減の問題が建築住宅などのように反映されていくのか。又、高齢化、少子化に向け、住宅建築の分野が、どのような社会性をもつて色々な変化に対応できるのか。或いは、画一的なライフスタイルではなく、多様なライフスタイルに対し、どの様に我々がサステイン出来るのか、様々な時代の変化が一度に押し寄せてくるように感じている。当協議会のような会が埼玉県にはあり、皆様のお知恵を借りながら色々な情報を共有し豊かな住まいづくり・環境づくりを我々が一丸となつて貢献出来る場を作れれば幸いと思っている」との開会のあいさつがありました。

続いて、古里運営委員長の司会により、住宅施策研究会が始まりました。最初に、温暖化対策課の松山副課長から「埼玉エコタウンプロジェクト」事業の概要と最近の動向について、「埼玉エコタウンプロジェクトは知事の日本再生・埼玉イニシアティブ構想を打ち出した計画である。再生可能エネルギーを中心とした創エネと徹底した省エネによりエネルギーの地産池消を具体的に進めるモデルを全国に発信する」と説明がありました。

次いで、住宅課関根主幹及び新居木造住宅生産体制強化推進委員長から、

協議会が本年度初めて取り組む国の委託事業「住宅市場技術基盤強化推進事業」に関する説明があり、最後に、運営委員会（報告者：古里運営委員長）、情報普及部会（新居部会長）、広報部会（堀越部会長）、埼玉住み心地の良いまち推進委員会（北澤委員長）、住宅リフオーム推進委員会（酒井委員長）、マンショントリフオーム委員会（前島事務局長）、サステイナブル研究委員会（福島委員長）、応急仮設プロジェクトチーム（新居チーミリーダー）について、部会長、委員長などから報告があり、前半を終了しました。

後半の懇談会では、各理事などから「住まいづくり協議会は、官民一体の全国的にもまれに見るすばらしい取り組みであり、理想的なビジネスモデルとも言える。この取り組みが全国の模範となることを期待しており、これらもできる限り尽力させていただきたい」「今後ますます、官民親しく手を取り合って、住まいづくり協議会が知恵と活力あるすばらしい組織に育つてほしい」との意見が述べられました。

最後に、山本新会長から、「宮沢前会長の後任をお引き受けし、住まいづくり協議会会長としての重責を痛感している。任期中の会員総数150名達成を当面の目標としており、また、住まいづくり協議会のすばらしい活動をより良く、より広く展開して行くためにも、その取り組みや成果を世間に周知・発信すべく、広報活動にも物心両面で注力したいと考えている」と挨拶があり、大久保副会长による3本締めで終了しました。



## 運営委員長 就任のご挨拶

埼玉県住宅供給公社常務理事

古里 実

宮沢前会長から山本新会長への会長交代にともない、運営委員長を仰せつかった埼玉県住宅供給公社の古里実です。

当協議会は、「民」と「行政」との協働により埼玉の豊かな住環境の実現を目指し多くの実績を上げている全国に類の無い組織です。今年の活動を見ても、目を見張るものがあります。例えば、県の施策と連携した応急仮設プロジェクトチームやサステイナブル研究委員会の立ち上げ、さらには木造住宅生産体制強化推進委員会の設立、地域ブランド化事業への挑戦などがあります。

こうした会員の皆様の埼玉を良くしていきたいという熱い思いと取組をしつかり受けとめ支えることが運営委員会の役割だと認識しています。微力ですが、その一翼を担つてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

《国土交通省補助事業》平成24年度 住宅市場技術基盤強化推進事業(住宅省エネ化推進体制強化)  
住宅省エネルギー施工技術者講習会開催

木造住宅の省エネ基準が義務化されます

# 大工さんには今後必要不可欠になる 大工さん向け断熱施工技術講習会を開催!!

埼玉県住まいづくり協議会  
木造住宅生産体制強化推進委員会

現在建てられている新築戸建て住宅のうち、5～6割が住宅省エネ基準を満たしていますが、戸建住宅の約4割を供給する中小の大工・工務店では2～3割に過ぎず、省エネ技術が十分に浸透していません。

そこで、新築住宅における省エネ基準適合率を平成32年度までに100%とすることを目標に、地域の木造住宅生産を担う大工技能者等を対象に住宅省エネ施工技術講習会を各都道府県単位で行い、最終的に20万人の大工技能者を養成します。

本県においては、本年度、この事業者として、埼玉県住まいづくり協議会が国の採択を受け、次のとおり省エネ施工技術者講習会を開催することとなりました。

この講習会は、大工技能者にとって今後必要不可欠の技術であると考えていますので、是非ご参加くださるようお願いいたします。

◆対象 大工技能者等（大工技能者以外の方も受講可能です。）

◆費用 1,000円  
(修了証発行費用。講習会当日受付時にお支払いください)

◆日程及び会場

① 11月5日（月）～11月13日（火）の間  
7回開催

会場 埼玉土建技術研修センター  
住所 さいたま市北区吉野町  
21220-13

のうち、5～6割が住宅省エネ基準を満たしていますが、戸建住宅の約4割を供給する中小の大工・工務店では2～3割に過ぎず、省エネ技術が十分に浸透していません。

そこで、新築住宅における省エネ基準適合率を平成32年度までに100%とすることを目標に、地域の木造住宅生産を担う大工技能者等を対象に住宅省エネ施工技術講習会を各都道府県単位で行い、最終的に20万人の大工技能者を養成します。

事業初年度となる本年は全国で1万人を養成することとしており、埼玉県では600人を目標としています。

本県においては、本年度、この事業者として、埼玉県住まいづくり協議会が国の採択を受け、次のとおり省エネ施工技術者講習会を開催することとなりました。

この講習会は、大工技能者にとって今後必要不可欠の技術であると考えていますので、是非ご参加くださるようお願いいたします。

◆対象 大工技能者等（大工技能者以外の方も受講可能です。）

◆費用 1,000円  
(修了証発行費用。講習会当日受付時にお支払いください)

◆日程及び会場

① 11月5日（月）～11月13日（火）の間  
7回開催

会場 埼玉土建技術研修センター  
住所 さいたま市北区吉野町  
21220-13

② 12月11日（火）～12月20日（木）の間  
7回開催

会場 埼玉県民活動総合センタ  
住所 伊奈町内宿台6-1-26

住宅省エネ施工技術講習会ホームページ  
<http://www.shoene.org/>

ページ

http://www.shoene.org/

※各回ごとの定員は30名程度で、定員となり次第締め切りとなります。

※各回とも1日コースで同様の内容で

会場 大和屋株式会社  
住所 熊谷市問屋町4-1-7

会場 大和屋株式会社  
住所 熊谷市問屋町4-1-7

※開催日程や会場に関する詳細については、専用のホームページでお知らせします。  
また、お申し込みは専用のホームページで受付けています。

※この講習会は建築士会CPD認定研修です。

◆問合せ先  
埼玉県住まいづくり協議会事務局  
電話 048-830-0033  
FAX 048-830-0034

◆問合せ先  
埼玉県住まいづくり協議会事務局  
電話 048-830-0033  
FAX 048-830-0034

## ◆カリキュラム

|                         |     |  |
|-------------------------|-----|--|
| 9:30～ 9:45              | 15分 | 開会、趣旨説明等   |
| 9:45～11:15<br>(休憩15分含む) | 75分 | 1章(これからの住まい)<br>2章(住宅の断熱設計)<br>5章(住まい手にむけて)<br>別冊「省エネ基準と関連制度の解説」 |
| 11:15～12:00             | 45分 | 断熱施工 DVD上映   |
| 12:00～13:00             | 60分 | =昼休み=  |
| 13:00～14:00             | 60分 | 3章(充填断熱施工)   |
| 14:00～14:40             | 40分 | 3章(外張断熱施工)   |
| 14:40～15:25             | 45分 | 模型解説   |
| 15:25～15:40             | 15分 | =休憩=   |
| 15:40～16:10             | 30分 | 4章(住宅の断熱リフォーム)   |
| 16:10～16:40             | 30分 | 修了考査   |
| 16:40～16:55             | 15分 | 考査問題解説   |
| 16:55～17:00             | 5分  | アンケート記入、閉会   |

◆配布資料

- ・住宅省エネルギー技術者講習テキスト及び  
別冊「省エネ基準と関連制度の解説」
- ・住宅断熱施工DVD



平成24年度  
住生活月間シンポジウム

# 埼玉の 未来を拓く 住まいづくり

## 第1部

日本一激しい高齢化に直面する  
埼玉での住まいづくり

明治大学理工学部建築学科教授  
**園田 真理子**

## 第2部

『固定価格買取制度』スタート  
～住まいに役立つFIT制度の活用法～

日本再生可能エネルギー総合研究所 代表  
**北村 和也**

**平成24年 10月19日(金)**

13:15~16:30 (開場12時30分)

**コルソホール**

浦和コレソ7F (JR浦和駅西口正面)

コルソホールは地下に駐車場がありますが有料です。ご利用の方は各自でご負担ください。

**同時  
開催**

**「無料 住宅リフォーム相談会」**(埼玉県住宅供給公社 共催)

●「第8回埼玉住み心地の良いまち大賞」入選作品展 ●その他、リフォームやエコに関する実例集

[お問い合わせ・申込先] 事務局 (埼玉県住宅供給公社内) TEL 048-830-0033

※受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00 (月~金)

主催:  **埼玉県住まいづくり協議会**

後援: 埼玉県、国土交通省、住宅金融支援機構首都圏支店、  
都市再生機構埼玉地域支社

**入場  
無料**